



残りの日々をどう過ごしますか？

卒業式の練習も進み、いよいよ中学校生活もあと4日となりました。この3年間を振り返る時間も、少しずつ増えてきています。

今回は、知り合いの先生から聞いた話を紹介します。

その学校でも、卒業式を終えた3年生が校門を出ていく時間になりました。友達と写真を撮り、先生にあいさつをし、保護者と話しながら、生徒たちは少しずつ学校を後にしていきます。笑顔の人もいれば、少し寂しそうな顔をしている人もいました。先生たちは校門の近くで、その様子を見送っていました。

しばらくして、一人の生徒が校門を出ていきました。その生徒は友達と話しながら歩いていたのですが、校門を出たところで、立ち止まりました。そして、学校の方を振り返り、校舎を見上げ、校庭を見渡し、少しの間そのまま立っていました。先生がその姿を見て、「どうしたんだ？」と声をかけると、その生徒は、

「ここで過ごした3年間、もう戻れないんだなと思って。」
と答えました。それだけ言うと、生徒は少し照れたように笑い、また歩き出していきました。

先生はその後ろ姿を見ながら、こんなことを思ったそうです。

中学校生活の中では、毎日が当たり前のように過ぎていきます。授業があり、休み時間があり、友達と話し、部活動をして、また次の日が来る。その繰り返しですが、いつまでも続くように感じるかもしれません。しかし、その時間は当たり前ではなく、気づけば、いつの間にか終わりの日がやってきます。

卒業とは、そういう瞬間です。

振り返って初めて、その時間の大切さに気づくこともあります。今、皆さんはその「終わりに近い時間」の中にいます。だからこそ、この残りの日々をどう過ごすかがとても大切です。

友達と過ごす時間。先生と話す時間。教室で過ごす時間。

その一つ一つが、もうすぐ「思い出」になります。

卒業式の日、皆さんは校門を出ていくことになります。そのとき、どんな気持ちでこの学校を振り返るでしょうか。「ああ、いい3年間だったな。」そう思って振り返ることができるように、残りの日々を大切に過ごしてほしいと思います。



最後まで、学年の仲間を大切に。
最後まで、感謝の気持ちを忘れずに。

卒業証書を受け取るということ



卒業式で校長先生から卒業証書を受け取るということは、「義務教育を修了し、自分の力で次の道へ進んでいく人になりました」という意味でもあります。その卒業証書には、皆さんの努力だけでなく、これまで支えてくれた多くの人の思いが込められています。だからこそ、その卒業証書を受け取る際には、感謝の気持ちをもってほしいと思います。そして、多くの人から祝福される卒業式になってほしいと願っています。皆さんがその気持ちを伝える方法は、3つあります。

一つめは、担任の先生から名前を呼ばれたときの返事です。「はい」という二文字に、三年間の思いを込めてください。

二つめは、卒業証書を受け取る時です。校長先生の目をしっかりと見てください。その目に、これから始まる新しい世界を、自信をもって進んでいく決意を込めてください。

三つめは、式歌です。合唱コンクールのときのように、3年生全員の心を一つにして、思いを込めて歌いましょう。その歌声で、参列しているすべての人に、「ここまで育ててくれてありがとうございました」という感謝の気持ちを届けてください。



卒業式は、一人で迎えるものではありません。多くの人々の支えの中で迎える、大切な節目です。

どうか胸を張って、その一日を迎えてください。

がんばれ、3年生。

■今週の予定 (3/16 (月) ~ 3/19 (木))

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
3/16 (月)	A	式練		学年集会		学活		
	B							
	C							
3/17 (火)	A	式練	学活	卒業式予行		学活		卒業式予行 職員会議
	B							
	C							
3/18 (水)	A	式練	学年集会		学活			給食なし
	B							
	C							
3/19 (木)	A	卒業式						卒業式
	B							
	C							

※「社会1」はI先生、「社会2」はM先生です。

※「理科1」はK先生、「理科2」はM先生です。

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。_____は授業変更の箇所です。